

# ワクチン・検査パッケージの考え方に基づく 安心安全な社会の実現を目指して

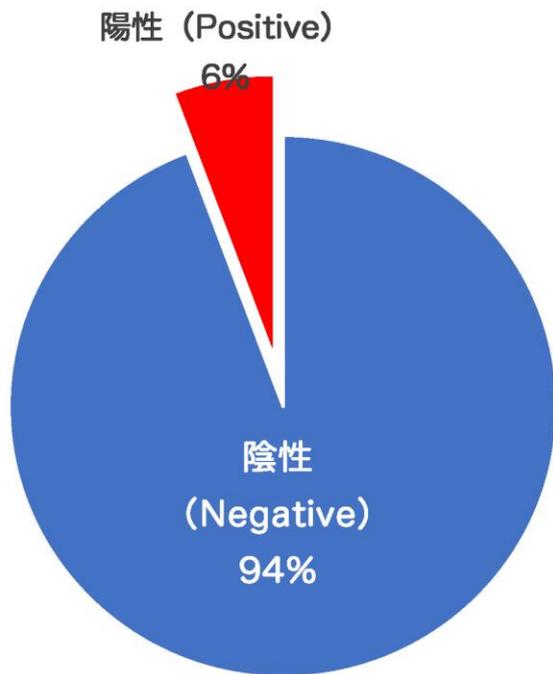
“コロナに対して注意はするけど恐れない”  
with/postコロナ時代へのパラダイムシフト  
と社会経済活動の新常態

公益社団法人 東京都医師会  
理事 黒瀬 巖



※本資料の一部または全部を無断転載・引用することを禁止します

# 繁華街等での無症状者を対象とした抗原定性検査



- 陽性率…6% (アンケート集計結果に基づく)
- 感染急拡大期には陽性率が最も高い日で12.1%に達した。本システムの活用により、サイレントスプレッダーを早期に発見し、市中感染を予防する効果があることが裏付けられた。
- しかし、検査陽性者が医療機関を本当に受診したかどうか検証は出来ず  
➔ 発熱外来マップとの連携とフォローアップ体制の強化が必要

対象人数：4,517名

対象期間：2022年1月6日から2月28日

主な地域：新宿・渋谷・池袋・新橋・秋葉原・浜松町・吉祥寺など

\*アンケート調査から、96%の利用者が「東京コロナパスの使用感」について前向きな評価（“良い”84%、“どちらかというが良い”12%）

# 安心安全な社会の実現に向けた課題

- 高齢者のワクチン3回目接種は進んでいるものの、社会的活動性の高い年齢層の3回目接種が遅れており、感染拡大への影響が危惧されている
- オミクロン株BA.2などの**変異株流行**も加わり、現下ではワクチン接種後の**ブレークスルー感染**が多発している（今後も続く予想）
  - ブレークスルー感染は症状も軽く、  
⇒**サイレントスプレッダー**を生み出す危険性が大
  - 社会・経済活動による**リスク**に合わせて、  
⇒ワクチン接種済み者にも積極的に陰性証明検査を行う必要がある
- 注射薬や内服薬（**重症化予防**）に加えて、ワクチン3回目⇒4回目接種（**感染予防＋重症化予防**）による個人の予防効果が期待される
  - 加えて、**検査体制**の拡充と**証明システム**の革新を並行して実施する

# 社会活動のリスクとは？

## ●時間的・空間的な三密状態

密接  
密集  
密閉  
+ 滞在時間



**密接**

マスクなし× 大声×



**密集**

大人数× 近距離×



**密閉**

換気が悪い× 狭い所×

## ●エアロゾルの拡散リスク（マスク着用の有無）

飲食、特に飲酒  
会食の時間  
空間内の移動や隔壁の有無  
マスクを外した会話（マスク会食・黙食）

# 活動のリスクレベルと感染防止対策の具体例

## ● 会議場や講堂（大空間）での飲食を伴わない会合



対策



ワクチン接種済み証明  
or  
検査陰性証明

## ● ホテルや店舗での飲食を伴う宴会やイベント



対策



ワクチン接種済み証明  
and  
検査陰性証明

ワクチン接種済者（検査未施行）のサイレントスプレッダーが飲食・飲酒のためにマスクを外したままワクチン未接種者（検査陰性）と同席したら・・・**危険大!!!**

## 入店・入場のイメージ

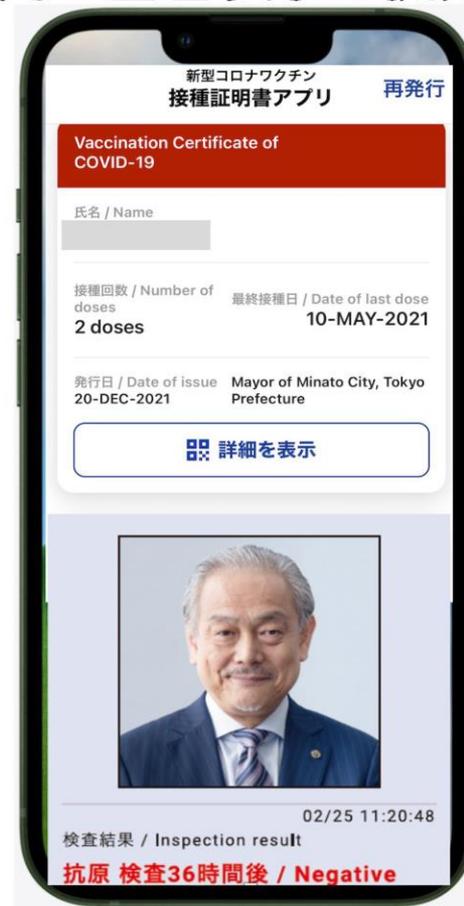


従来の東京コロナパス画面

## 検査結果の入力場所 (案)

- 診療検査医療機関 (都内約4,200ヶ所)
- 勤務先医務室など (産業医)
- 民間検査場
- 薬局・ドラッグストア

## ワクチン接種・検査陰性証明 同一画面表示の提案



# 社会活動の新常態と医療への連携

## 検査陰性の方

➡ “**新**東京コロナパス”を提示して、入店・イベント参加



## 検査陽性の方

➡ **発熱外来マップデジタル版**で近隣の受け入れ可能な**診療検査医療機関**を検索し、速やかに受診していただく  
(**新**東京コロナパスから自動的にリンク)



# 安心安全な社会（新常态）実現に向けた提案

## 標準的予防策は必ず継続しましょう

- ① ワクチン3⇒4回目接種の促進（感染・重症化予防）
- ② 内服薬・注射薬のさらなる開発と十分な医療現場への供給による的確な医療提供（治療・重症化防止）
- ③ 社会活動におけるリスクレベル分析とそれに合わせたワクチン・検査パッケージの適切な利用と普及促進
- ④ “新東京コロナパス”システム構築への理解と協力  
「ワクチン接種証明・検査結果」同一画面表示  
+ 「発熱外来マップデジタル版」へのリンク